

平成21年 第8回江田島市議会定例会一般質問〔12月〕

	質問事項	質問要旨	答弁者
1 山本 一也	(1) 職員の時間外勤務について	職員への時間外勤務命令の形態は、どのようになっているのか。 また、職員の健康状態の把握はどのようにされているのか。 教職員についても答弁願います。	市長 教育長
	(2) 特別支援学級の新設・継続の基準見直しに伴う今後の取り組みについて	広島県教育委員会は、2010年4月から特別支援学級の新設・継続の基準見直しということで、「広島県公立小・中学級編成基準の見直しについて」市町教育委員会に通知されていると思いますが、今後の取り組みについてお聞きします。	教育長
2 胡子 雅信	(1) 連結財務諸表の作成状況および公表・出前講座等について	平成20年6月定例会で公会計の整備に関する進捗状況についてお伺いしました。総務省方式改定モデルをもとに資産評価などの作成を準備し、連結財務諸表を検討すると回答がありました。また、平成21年度に作成目標との回答でしたがどうなっているのかお伺いします。 平成19・20年度決算をもとに健全化判断比率及び資金不足比率報告書をHPで公表し、『広報えたじま』にも説明していますが、行政用語などの説明もあるのですが、なかなか分かりにくいところです。 市民に分かりやすい、図などを駆使した説明が必要と考えますが、いかがでしょうか。 一定数の住民からの説明要望があった場合、出前講座を試みることも検討すべきと考えますが、どうでしょうか。 (消防本部による消防・救急出前講座はありますが、行政全般についての出前講座も開設すべきと考えます。)	市長
	(2) 下水道事業計画の再検討について	先般の行政刷新会議における事務事業仕分けにおいて、下水道事業等についてワーキンググループの評価結果が出ました。 ・下水道事業：事業実施は自治体の判断に任せる。 ・農業集落排水事業（農業農村整備事業）：事業実施は自治体の判断に任せる。 ・合併処理浄化槽整備（循環型社会形成推進交付金）：推進すべきも不用額は縮減。 (広域先進的技術の取り入れ施策等に国の関与は限定すべき。) ①上記を踏まえて、市の下水道事業計画の更なる再検討が必要と考えますが、どうですか。 (市に中長期の財政に関わる問題。) ②検討前に、市民に分かりやすい下水道の仕組みを広報で取り上げてみてはどうですか。 (参考岐阜県高山市 2008年10月1日号) 事業整備後にもどれだけ費用（ランニングコスト）がかかるのか、また、そのための財源についても早期に説明する機会が必要と考えます。	市長
3 林 久光	(1) 江田島市の農業について議論の場を	江田島市の農業の実態は、従事者の高齢化や担い手不足、放任果樹園や荒廃農地の増加などが顕著となり、今や危機的状況にあります。更に、政府の行政刷新会議による事業仕分けが行われ、来年度事業で農業関連の国からの補助事業に大きな影響が及ぶものと懸念されます。 当市においては、過去、アンケート実施や農業活性化協議会などでいろいろと農業振興について取り組みをされました。 しかし、荒廃農地は増え農家所得や従事者は減少する一方です。 地の利を生かした農業、特産品の農業六次化、新規就農への推進・指導、地場野菜・果実・花卉の産直を各地区に設置するなど江田島市の農業の将来について、もっと身近で広範囲にいろいろな人たちによる真剣な議論の場を設けることが必要ではないかと思いますが、お伺いいたします。	市長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
	(2) 公共下水道事業整備の展望は	<p>現在、江田島市で進められている下水道事業の整備は、全体の50パーセント強の工事が完了し、利用されております。</p> <p>昨年度、事業計画の見直しをされた結果、今後残りの区域の整備は15年程度、事業費として90億円強かかると聞いています。</p> <p>高齢化が進み大幅な人口減が顕著となり財政も逼迫した今、計画の再検討が急務と思いますが、今後の展望についてお伺いいたします。</p>	市長
4 浜西 金満	協働のまちづくりについて	<p>各地域に支援員を配置したことによる現時点での成果は、どの程度表れているのでしょうか。</p> <p>また、今後協働のまちづくりを推進していくにあたり、どのように支援していかれる考えか、お伺いします。</p>	市長
5 沖元 大洋	地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業の成果について	<p>地域活性化・経済危機対策臨時交付金として、国から本市に配分された5億7,996万5千円のうち、次の事業成果について伺います。</p> <p>1 一般旅客定期航路（民間）近代化整備等支援事業 2,100万円 民間会社がする近代化と地球温暖化対策</p> <p>2 生活交通路線施設整備支援事業 2,700万円 江田島バス施設整備（バリアフリー化）</p> <p>3 環境配慮型イベント普及補助事業 500万円 サマーフェスタ江田島の花火大会など</p> <p>4 住宅用火災警報器設置事業 2,260万円 高齢者世帯への火災報知器1基を無償配布</p> <p>5 プレミアム商品券発行事業 1,300万円 プレミアム商品券発行</p>	市長
6 片平 司	(1) 市民生活支援の拡充について	<p>かつて、1億そう中流と言われた日本も、小泉内閣の相次ぐ規制緩和と構造改革の中で貧困と格差が拡大し、戦後初めて発表した政府の相対的貧困率は15.7%（2007年）、子どもの貧困率（18歳未満）14.2%、子供7人に1人が貧困となっています。また、不況デフレの中、市民の生活は大変困難を強いられています。</p> <p>選挙で国政が大きく変わり、生活優先の施策に変わりつつある事に国民は期待し注目しているところですが、これからは江田島市においても国の準則のみではなく、創意工夫をした地域にあった独自の施策の実施が求められているものと思われまます。</p> <p>江田島市として、次の生活支援拡充について、どのように考えておられるのかお伺いします。</p> <p>(1) 就学援助制度の拡充</p> <p>(2) 子どもの医療費を義務教育終了まで無料化</p> <p>(3) 介護保険料、利用料の減免</p> <p>(4) 市営船の利便性向上（便数増・運賃値下げ・バスとの連絡）</p>	市長
	(2) 新型インフルエンザ対策について	<p>現在、WHOが設定する新型インフルエンザの警戒レベルは「フェーズ6」となっており、広範囲のヒトヒト感染が拡大しております。</p> <p>新型インフルエンザは、慢性呼吸器疾患や慢性心疾患など基礎疾患のある人と、お年寄り・小児・妊婦などが感染すると重症化することがあると言われております。</p> <p>市民一人ひとりが正しい知識を習得し、感染拡大防止に備えることが重要であると考えますが、江田島市ではどのような対策を行っているのか、また感染の現状、予防接種の状況についてお伺いします。</p>	市長
7 野崎 剛陸	(1) 危機管理体制について	<p>市民の生命・身体及び財産を保護することは、行政の最優先される課題の1つであることから、各種災害や急病等から市民を守るための消防・救急体制の整備を積極的に推進する必要があると考えますが、現消防・救急体制下において迅速かつ確かな活動は可能か、お伺いします。</p> <p>また、最近、特定の地域で不審火災が相次いで発生していますが、不審火（放火）対策について、どのような取り組みを行っているかお伺いします。</p>	市長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
	(2) 古い消火器の処理について	<p>最近マスコミ等によりますと、古くなった消火器が破裂したという事故が、相次いで報道されています。</p> <p>本市においてもこのような事故が発生する可能性があると思いますが、本市ではどのような事故防止策を実施されているのかお伺いします。</p>	市長
	(3) 火災警報器について	<p>65歳以上の方がいる世帯等に対し、火災警報器の無料配布をしていますが、該当する世帯は何世帯で、そのうち現在申請しているのは何世帯ですか。</p> <p>また、市の広報紙等で周知しているようですが、まだ情報を知り得ていない人が多くいるのが現状だと思います。これから、まだ手続きをしていない人への周知はどのように考えておられるのか、お伺いします。</p>	市長